

1 単元名 ダンス(フォークダンス・創作ダンス)

2 教材観

ダンスは、「創作ダンス」、「フォークダンス」、「現代的なリズムのダンス」で構成され、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運で、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージをとらえて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

中学校のダンスの授業では、イメージをとらえたり深めたりする表現をすること、伝承されてきた踊りを踊ること、リズムに乗って全身で踊ることや、これらの踊りを通じた交流や発表ができるようにすることが求められる。

ダンスはリズムカルな全身運動であり、継続して行うことで柔軟性、平衡性、筋持久力などが高められることからダンスを中学生の時期に行うことは、大変効果的であると考えられる。

3 生徒観

1年生男子は、全体的に身体を動かすことを好み、明るく真面目な態度で学習に取り組むことができる。しかし、単元導入時のダンスに関する調査では、約60%の生徒が、ダンスや踊ることに関して興味・関心が低い結果を示している。そこで、この学習を通して、踊ったりする楽しさや喜びを味わわせ、ダンスへの興味・関心が少しでも高まることや、仲間づくりという視点でも、互いに認め合って学習することでお互いの学習意欲が高まることを理解させたい。

4 指導観

本単元では、中学校で取り扱うダンスの3つの内容(創作ダンス・フォークダンス・現代的なリズムのダンス)のうち、創作ダンス・フォークダンスを一単元として学習し、それぞれのダンスの特徴を理解できるようにする。

フォークダンスでは、北海道の民謡であるソーラン節をアップテンポにアレンジした曲を用いた踊り「南中ソーラン」を取り上げ、足どりや手振りの動きなどの踊りの特徴をとらえ、音楽に合わせてみんなで踊ることができるようにする。創作ダンスでは、既習したことや習得したことを活用して、設定したテーマにふさわしい自分たちの踊りを作る工夫や活動を取り入れ、仲間と協力してオリジナルの南中ソーランを作り上げ、踊りの交流ができるようにする。その成果発表の場として体育祭で披露したいと考えている。

この学習を通して、ダンスの魅力や友だちと関わって踊る楽しさを味わうことや、ダンスの学習に積極的に取り組み、仲間のよさを認め合うことなどに意欲をもち、健康や安全に気を配るとともに、ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫することを目指したい。

5 単元目標

- (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。(技能)
 - ・フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ること。
 - ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ること。
- (2) ダンスに積極的に取り組むとともに、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。(態度)
- (3) ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。(思考・判断)

6 単元及び学習活動に即した評価規準

(●：第2学年の評価規準 ○：第1学年の評価規準 ◎：第1，2学年共通の評価規準)

	運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
単元 の 評 価 規 準	○ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ●よさを認め合おうとしている。 ○分担した役割を果たそうとしている。 ●仲間の学習を援助しようとしている。 ○健康・安全に留意している。	○自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。 ●課題に応じた練習方法を選んでいる。 ○発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ●学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。	◎音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。 ◎多様なテーマから表現したいイメージをとらえ踊ることができる ◎動きに変化を付けて即興的に踊ることができる。 ◎変化のあるひとまとまりの表現にして踊ることができる。	○ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。 ●踊りの由来について、学習した具体例を挙げている。 ●表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ○ダンスに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。
学 習 活 動 に 即 した 評 価 規 準	<p>【指導内容】</p> <p>・感じを込めたり、みんなで踊ったりして、楽しさや喜びを味わわせ、イメージをとらえた表現や踊りを通して交流できるようにする。</p> <p>↓</p> <p>①ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。【評価規準】</p> <p>・仲間の演技を認めあって学習することは、お互いの運動意欲が高まること。</p> <p>↓</p> <p>②よさを認め合おうとしている。</p> <p>・自他の健康や安全性が確保されること。</p> <p>↓</p> <p>③健康・安全に留意している。</p>	<p>【指導内容】</p> <p>・基礎的な知識や技能を活用して学習課題を設定し、学習を追究し、取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>↓</p> <p>①自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。【評価規準】</p> <p>・学習した内容を学習場面に適応したり、応用できるよう、言語活動の場を設定し、表現力や探究心を深めることができるようにする。</p> <p>↓</p> <p>②発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。</p>	<p>【指導内容】</p> <p>・音楽に合わせて、由来や風習などのイメージや特徴的な足どりや手振りの動きをとらえ踊ることができるようにすること。</p> <p>↓</p> <p>①音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。</p> <p>・日常的な動きや心象（意識の中に浮かべたもの）などをイメージし表現できるようにすること。</p> <p>↓</p> <p>②多様なテーマから表現したいイメージをとらえ踊ることができる。【評価規準】</p> <p>・動きを誇張したり、変化を付けてたりして、ひと流れの動きにして表現できるようにすること。 ・思いついたイメージをすぐに動きに変えて表現できるようにすること。</p> <p>↓</p> <p>③動きに変化を付けて即興的に踊ることができる。</p> <p>・多様なテーマの例を具体的に示し、取り組みやすいテーマを選び動きに変化を付けて素早く即興的にできるようにすること。 ・表したい感じやイメージを強調するように表現して踊ることができるようにすること。</p> <p>↓</p> <p>④変化のあるひとまとまりの表現にして踊ることができる。</p>	<p>【指導内容】</p> <p>・ダンスは仲間とともに感じを込めて踊り、イメージをとらえて自己を表現する楽しさや喜びを味わうことのできる運動であること。 ・他者とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する身体表現であること。</p> <p>↓</p> <p>①ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。【評価規準】</p> <p>・ダンスはリズムカルな全身運動であり関連した体力が高まること。 ・ダンスを継続することで、柔軟性、平衡性、筋持久力などが関連して高められることを理解させる。</p> <p>↓</p> <p>②ダンスに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</p>

7 指導と評価の計画（全9時間：本時7／9）

1	時	ねらい・学習活動	関	思	技	知	評価方法
はじめ (1時間)		<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ダンスの特性を学習し、単元の目標を立てよう。 ○学習の進め方と約束、健康や安全の留意点を確認しよう。 ○関連して高まる体力について理解しよう。 ○イメージしたことを工夫し表現してみよう。 <p>学習の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組む姿勢 ・学習の進め方 ・関連して高まる体力 ・健康・安全の留意点 					
	1	<p>活動Ⅰ ・オリエンテーションを通して学習の進め方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連して高まる体力について理解する。 <p>活動Ⅱ ・テーマに合った動きをイメージし表現してみよう。</p>	③			②	観 察 学 習 カ ー ド
なか① (1時間)		<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南中ソーランの動画を鑑賞しイメージを膨らまそう。 ○学習した技能を生かし即興で簡単なダンスを作ってみよう。 <p>学習の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組む姿勢 ・イメージしたものを表現する 					
	2	<p>活動Ⅰ ・南中ソーランの由来や動画を鑑賞する。</p> <p>活動Ⅱ ・基本的なステップを学習する。</p> <p>活動Ⅲ ・習得した技能を生かし即興で簡単なダンス作りをする。 《学習した技能を生かし、ステップや動きをつなぎ合わせ、 「はじめ-なか-おわり」などの構成に適した作品をつくる。》</p>			②		観 察
なか② (3時間)		<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仲間と協力しながら、積極的に学習に取り組もう。 ○南中ソーランの踊り方を学び、工夫してみよう。 <p>学習の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・踊り方のポイントを見つける ・動きに変化を付けて表現できる ・積極的に取り組む ・学習した具体例を挙げる 					
	3	<p>活動Ⅰ ・南中ソーランの踊り方を習得する。</p>	①				観 察
	4	<p>活動Ⅱ ・より格好良く踊るための工夫を考え練習しよう。 《仲間と動きを合わせる、大きく踊る》</p>				①	学 習 カ ー ト
5	<p>活動Ⅲ ・グループ間で見せ合い、良い動きなどを意見交換する。</p>			③		I C T	

なか③ (3時間)		<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表現したいテーマを設定し、イメージにふさわしい動きを探そう。 ○仲間と協力しながら、工夫して学習課題に取り組もう。 ○グループや仲間のよい動きなどを指摘してみよう。 					
		<p>学習の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定 ・練習方法の選択 ・よさを認め合う ・仲間やグループのよい動きなどへの指摘 					
	6	<p>活動Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現したいテーマを設定し練習する。 「一体感」「迫力」「協力」「やさしさ」「男らしさ」 		①			学 習 カード
	7 本 時	<p>活動Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージにふさわしい動きを仲間と協力して探す (探究活動) <p>活動Ⅲ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つのグループ間で発表し、よい動きなどを意見交換する。 仲間と学習する場面で、グループや仲間のよい動きなどを指摘できる。 		②			観 察 学 習 カード ICT
8			②		①		観 察 学 習 カード ICT
まとめ (1時間)		<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仲間と協力し、学習の成果を発表しよう。 ○仲間の良い発表を認め合おう。 					
		<p>学習の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化のあるひとまとまりの表現 ・仲間の良い発表を認める態度 					
9	<p>活動Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間の発表(南中ソーラン)を認めながら発表会を行う。 				④		観 察 学 習 カード ICT

8 本時の指導 [7 / 9 時間]

(1) 本時の目標

- ・仲間と学習する場面で、他のグループや仲間のよい動きなどを指摘できる。
- ・(探究) イメージにふさわしい動きを仲間と協力して探す。

(2) 本時の評価規準

- ・発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。(運動についての思考・判断②)

(3) 準備物

- ・ホワイトボード (4) ・マーカー (3色×4) ・ビデオカメラ (2) ・スクリーン (2)
- ・プロジェクター (2) ・学習カード (生徒数) ・黒板 (1) ・掲示物 ・タイマー

(4) 本時の展開

	探究的な学習の流れ	学習内容・活動	評価方法及び評価規準
はじめ (5分)	めあての提示	1 集合・整列・あいさつ、健康観察をリーダーを中心に行う。 2 準備運動を行う。 3 本時のねらいを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> (探究) イメージにふさわしい動きを仲間と協力して探す。 ○仲間と学習する場面で、他のグループや仲間のよい動きなどを指摘できる。 </div>
なか (40分)	課題の提示 ↓ 思考する ↓ 表現する	4 課題解決活動 ○グループ内でテーマのイメージに近づけるには、どのような工夫ができるかを確認する。 ・ホワイトボード (前時に作成) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「テーマ」のイメージにつなげる動き、表現の工夫 ・目線 (下、前、上、左後) ・声 (大きく、堂々と) ・体 (高く・低く・大きく・小さく・しなやか、堅く、伸ばす、縮める) ・空間 (集まる、離れる) ・表情 (笑顔、真剣) </div> ○グループ間で指摘してもらいたい工夫点や課題 (ホワイトボードを使用) を共有する。 ○イメージにふさわしい動きを仲間と協力して探す。 ①: 映像を見ながら、動きを修正する。 ②: 動き方や修正を話し合い、練習する。 ※①、②を交代して行う 5 ミニ発表会 (各グループ) ○よい動きなどの指摘やアドバイスなど意見交換する。	「運動についての思考・判断」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 評価: 発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 (思考・判断②) 「よい動き」 明るく元気に大きな声で、漁師のイメージや特徴をとらえ、目線、体、空間の工夫点を意識し表現できること。 </div> 【観察評価】 ・練習や学びの姿から状況を判断する。 ・グループの課題を理解して指摘する姿。 ・学習カード。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◎努力を要する状況の生徒への手立て ・「どのようなアドバイスをしたら、仲間の課題解決になるかを考えて助言しよう」「肯定的にアドバイスや助言をしよう」など声掛けする。 </div>
まとめ (5分)	振り返り	6 整理運動 7 本時のまとめ ○学習カードへの記入。 ※見学者からの感想 ○次時の予告、教師の評価	・見学者への配慮をする。 ・次時に繋がる肯定的な感想や評価をする。